

これでこの5年間の応募数は、昨年26回が658点、25回が721点、24回812点、23回が603点で、その平均は703点です。各部門の内訳は、以下のようになりました。

① 地域文化部門	108点	(昨年 74点)	+46%
② 個人史部門	107点	(昨年114点)	-7%
③ 小説部門	150点	(昨年128点)	-17%
④ エッセー部門	88点	(昨年 96点)	-8%
⑤ 詩歌部門	63点	(昨年 75点)	-16%
⑥ 研究評論部門	114点	(昨年110点)	+4%
⑦ グラフィック部門	91点	(昨年 63点)	+42%

第27回日本自費出版文化賞の今後の日程

- ① 第1次選考：4/30事務局発送～7/3返送必着
- ② 第2次選考会：7/13（土）10時～夕方（東京・ニッケイビル8F）
- ③ 最終選考会：9/5（木）13時～15時（吉祥寺・東急REIホテル）
- ④ 記者発表：9/5（木）16時～17時（ " " ）
- ⑤ 新聞・ホームページ発表：9/6（金）朝日新聞朝刊&当会のHP（午後から）
- ⑥ 表彰式：11/9（土）午後から。（東京・アルカディア市谷ホテルにて）

□□ _____ □□

2. お知らせ …「2024高知全国大会」5月24日開催
4/27現在の現地参加申し込み26名

□□ _____ □□

「2024高知全国大会」が5月24日（金）に開催されます。
全国大会は、総会、自費出版アドバイザー講座、記念講演会、懇親情報交換会という、例年「自費出版漬けの一日」となっています。
1ヵ月前の4月27日現在で現地参加者は26名です。早めのお申し込みをお願いいたします。
高知は熱い同業者が集積していますので、刺激をもらえるいいチャンスです。一緒に参加いたしまししょう

□□ _____ □□

3. お知らせ …日本自費出版文化賞1次2次選考委員に新たに7名委嘱

□□ _____ □□

2年に一度、日本自費出版文化賞の受賞者に文化賞の1次2次選考委員を委嘱依頼しています。
2024年は委嘱依頼の年で、その結果、個人誌部門1名、小説部門1名、詩歌部門3名、研究・評論部門1名、グラフィック部門1名、計7名から快諾の返事をいただき、新たに委嘱いたしました。

□□ _____ □□

☆ 自費出版事情… ～会員便り～No.77

□□ _____ □□

電算印刷株式会社・クラフト舎
加藤 洋子

「吉と出るか？」

先日、松本市にある“人事のプラットフォーム”を使命とする会社の社長から「某大手新聞社で自分史部門の部長をしていた方が、定年退職後に地元に戻って自分史の取材・ライティングの副業を試みようとしているが、御社に需要はあるか」というご相談がきました。あちこちの印刷会社に問い合わせてもそういう需要は無く、こちらに回ってきたものです。

実のところ弊社の自費出版書籍の多くが作品集や文芸で、自分史はかなり少ないので……と返

事はしたものの「某大手新聞社」に興味を覚え、ご本人とも面談をしましたが、どうやら「書く」方の専門で、DTPや編集はよくわからない様子でした。

どうすれば仕事に繋がるかという問いに、セミナーの継続開催などが有効では？そしてその様子を地元新聞に取材してもらうのが一番手っ取り早いですよ、と回答しましたが、弊社でも一時「自分史ノート」を作りシニア大学などに売り込んだものの、あまり効果はなかったので自分史の喧伝からは手を引いてしまった、というのは内緒です。

仕事が発生したら、編集・印刷・製本は弊社で請け負うことで合意しましたが、どうなるか楽しみでもあります。
ちなみに某大手新聞社は自分史部門を閉鎖してしまったそうです。
有名だったのにな。

□□ _____ □□

☆ 知っとこ高知 その12

□□ _____ □□

いよいよ高知大会が開催される5月となりました。「知っとこ高知」も今回で最終回となります。参加者がどれくらいの人数になるのか分かりませんが、最後に主な観光スポットをご紹介しますと思います。

【中心部】
・ひろめ市場・・・中心部（帯屋町アーケード）にある屋台村。平日は朝10時から、日曜は朝9時から飲めます（笑）

・高知城・・・関ヶ原の戦いの後、土佐に入った山内一豊が建てた南海の名城。天守閣からは高知市街地が一望でき、最近では港から近いということで外国の豪華客船に乗った観光客も多数訪れています。

・高知城歴史博物館・・・土佐山内家伝来の約6万7千点におよぶ土佐藩、高知ゆかりの資料の数々を収蔵・展示。

※3カ所とも中心街から歩いて行ける近い距離で、コンパクトシティ高知ならではの？

【五台山エリア】
・牧野植物園・・・NHK朝ドラ『らんまん』で話題になった牧野富太郎博士ゆかりの野生植物や園芸植物など3,000種類以上が四季を彩ります。

・竹林寺・・・四国八十八カ所霊場の第31番札所。本尊の文殊菩薩は日本三文殊の一つ。博識でユニークな海老塚住職は高知でも有名人。

【桂浜エリア】
・桂浜・・・雄大な太平洋に面し、月の名所としても名高い桂浜。昨年3月にリニューアル。高知を代表する観光スポット。
・坂本龍馬記念館・・・坂本龍馬関連資料の展示だけでなく、太平洋を一望できる人気スポット。

【仁淀川エリア】
・いの町紙の博物館・・・和紙の歴史と文化、原料・用具などを展示。手すき実演・体験コーナー、販売コーナーも充実。

・屋形船仁淀川・・・水質日本一の「仁淀川」を堪能できる50分の屋形船クルーズ。有名な沈下橋も見れます。

・土佐和紙工芸村「くらうど」・・・古い蔵を改装したギャラリー、産直市、土佐和紙の紙すき体験、カヌーなどのリバーアクティビティなど仁淀川を存分に味わえる総合施設。不織布で作った200匹の「紙のこいのぼり」は壮観です。

※東の室戸や西の四万十川はかなり遠いので、高知大会の翌日25日（土）は、皆様のご希望も聞きながらご紹介したスポットをいくつかご案内させていただきます。
お会いできるのを楽しみにしております。

リーブル出版（株式会社リーブル）
代表取締役 坂本 圭一郎

★あしがき

全国大会が終わると、次は日本自費出版文化賞が待っています。
今年もたくさんの応募がありましたが、毎年部門ごとの応募数の傾向が変わるようですね。
何が影響しているのかを考えるのも面白いです。

さて5月の高知、最終回では観光スポットも紹介していただきましたが、
「目に青葉 山ほととぎす 初鯉」の頃。やっぱり食も楽しみです！
それでは、高知でお会いしましょう！

最後までお読みくださりありがとうございました。

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたら
yumi@maruwanet.co.jp まで、お願いいたします。

◆日本自費出版ネットワーク事務局
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 ニッケイビル7階
電話：03-5623-5411
FAX：03-5623-5473
<http://www.jsjapan.net/>

過去のメールマガジンはコチラからご覧になれます

↓
<https://www.jsjapan.net/pages/mm>
